

いさはや

日赤だより

広報誌
2025
第28号

2



令和6年12月 仕事納め式後に記念撮影



日本赤十字社キャラクター

ハートちゃん

医局
特集

感染性腸炎について …… P3-4

体験型医療安全研修報告 …………… P5

第一回健康フェスタを開催しました … P11-12



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長崎原爆諫早病院

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

病院の理念

赤十字精神のもと、地域並びに被爆者の皆様に
「心のこもった良質な医療」を提供します

病院の基本方針

1. 赤十字基本原則のもと、患者中心の医療を提供します
2. 被爆者の健康管理と診療の充実に努めます
3. 医療連携を促進し、救急医療をはじめ地域医療に取り組みます
4. 政策医療である結核医療の充実に努めます
5. 赤十字病院として災害時の医療救護活動を行います
6. 職員の自己研鑽・人材育成に努め、患者さんに信頼される医療人を育成します

患者の皆様の権利

1. 個人の尊厳が尊重される権利があります
2. 良質の医療を公平に受ける権利があります
3. 診療・治療に関する説明を受ける権利があります
4. 診療・治療行為を選択し決定する権利があります
5. 個人情報を守られる権利があります
6. 臨床研究に参加する権利と拒否する権利があります

患者の皆様に守っていただく事項

1. 診療に必要なご自身の健康状態に関する情報を正確にお伝えください
2. すべての患者さんが平等に適切な医療を受けられるように病院の規則をお守りください
3. 他の患者さんや医療従事者に対しての暴言・暴力などの迷惑行為があった場合には診療をお断りすることがあります
4. 健全な病院経営のために医療費は遅滞なくお支払いください

ご挨拶

院長 福島 喜代康



新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

令和6年の国内外の主な出来事を振り返りますと、元旦に**能登半島大地震 (M7.6)**が発生しました。当院からも能登半島に「こころのケア班」を派遣しました。さらに9月には豪雨災害も重なり、復興のためにはまだまだ時間がかかるようです。多くのご支援を引き続きよろしくお願いいたします。7月3日には20年ぶりに新しいお札が発行されました。**パリ・オリンピック**も7月26日から開催され、日本は金メダル18個獲得し過去最多を更新し、アメリカ、中国に次いで世界第3位と好成績でした。メジャーリーグでは**大谷選手が大活躍**して9月20日に50-50を達成し、多くの刺激と感動を貰いました。さらに、12月には**日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞**を受賞されました。長崎県民として非常に喜ばしいことで、“**No more Hiroshima, No more Nagasaki, No more War**”を今後も継承していく必要性を再認識いたしました。

さて、当院は内科系（呼吸器科、循環器科、消化器科、放射線科、リハビリテーション科）に特化した診療を行っており、入院病床は**地域包括ケア病床63床、急性期病床39床、結核20床**です。長崎大学病院、長崎医療センター、諫早総合病院、長崎原爆病院などの基幹病院（急性期病院）で治療を受けた多くの患者さんを**地域包括ケア病床**へ受け入れ、在宅に向けての支援を行っています。さらに、総合検診（人間ドック）による病気の早期発見や訪問看護、訪問診療の**在宅医療**も行っております。

また、令和6年1月に人工知能搭載の**核磁気共鳴画像 (MRI) 装置**を導入しました。脳、脊椎、子宮、卵巣、前立腺、膵臓などの疾患に有用な画像診断装置です。さらに、腰痛などの整形外科疾患に対しては、MRIの導入に加えて**整形外科外来診療（令和6年4月から毎週水曜日）**を行っています。多くの方にご利用いただけることを期待しています。

さて、“**新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)**”は、令和5年5月8日から感染症法での2類相当から5類になりました。しかしながら、**新型コロナウイルスがいなくなったわけではありません**。オミクロン株 (XBB変異株) による第10波 (令和5年12月～) が発生し、**当院でも新型のKP.3株が令和6年5月末頃から徐々に増加し第11波となりました**。さらに**12月中旬から第12波が発生**しています。高齢者の方は**肺炎を併発**する可能性がありますのでご注意ください。

令和6年7月中旬からは**マイコプラズマ肺炎**（4年に1回大流行するためオリンピック病とも言われる）が増加しており、12月初旬には**A型インフルエンザが急激に増加**し、過去最大の大流行となっています。

今後の感染症対策としては、1) **基本的な感染対策**：三密（密閉、密集、密接）を避け、マスク着用、手洗い、換気が必要です。特に冬場でも換気を十分に行うよう留意してください。2) 重症化予防のためには**新型コロナワクチンの接種が有効**です。任意（有料）ですが、65歳以上の方には自治体補助があります。さらに3) **迅速抗原検査や核酸増幅検査 (LAMP/PCR検査)**での早期診断と早期に抗ウイルス薬（保険適応）の内服治療することが大事です。

最後に、これからも“**心のこもった良質な医療**”を提供して、地域の皆様に信頼される病院となるように職員一同さらに努力していきたいと思っております。

今年もどうかよろしく願い申し上げます。

令和7年1月吉日



感染性腸炎について

医師（消化器科） ながまつ 永松 まさろう 雅朗

感染性腸炎について

- ▶ 病原体にはウイルス、細菌、寄生虫などがある。多くは汚染された水や食品による感染（食中毒）だが、ヒトやペットからの接触感染もある。
- ▶ 食中毒として報告数が最も多いのはノロウイルス腸炎で、次いでカンピロバクター腸炎、サルモネラ腸炎、ウェルシュ菌腸炎などが多い。
- ▶ 急性下痢の90%は感染症が原因である。4週間以上持続する慢性下痢では腸結核や寄生虫疾患が原因であることもあるが、多くの場合は非感染性の疾患である。

感染性腸炎の発生機序

▶ **ウイルス性腸炎**では小腸腸管上皮細胞に感染する。感染細胞は最終的にアポトーシスなどで死ぬが、大きな粘膜障害は生じない。

▶ 細菌性腸炎

① **毒素型**（黄色ブドウ球菌腸炎、ボツリヌス症など）
食品中で細菌増殖する際に産生した毒素を食品と共に摂取することで発生。

② 感染型

a. **毒素産生型**（腸管出血性大腸菌、腸炎ビブリオ、ウェルシュ菌、エロモナス、コレラ菌、Clostridium difficileなど）

病原菌が腸管上皮細胞に定着し増殖する際に毒素産生することで発生。一般に粘膜障害は軽い。

b. **組織進入型**

サルモネラ、カンピロバクター、赤痢菌などは腸管上皮細胞に定着・増殖し破壊する。チフス菌、エルシニア、結核菌などは腸管リンパ装置を介して侵入・増殖し、リンパ濾胞の腫大やびらんをきたし、時に深い潰瘍を形成する。

感染性腸炎の診断

▶ 病原体の推定には病歴が重要。聴取すべき病歴を示す。

- 症状（下痢の回数、性状、血便、腹痛、発熱など）
- 発症までの時間
- 疑わしい飲食物（生の海産物、生肉、生卵、焼き肉、井戸水など）
- 川や湖での水泳などの行為
- 海外渡航歴
- 周囲の人の状況
- 動物との接触
- 基礎疾患（免疫不全の有無）
- 服薬歴（特に抗菌薬）
- 職業

▶ 便培養

感染性腸炎で便培養陽性になるのは1.5～5.6%のみだが、重症例では87%で陽性となる。抗生剤投与の対象になるのは重症例のみであることもあり、便培養は重症例のみ提出する。また、集団発生の場合は公衆衛生上の観点から培養が必要である。

▶ *重症の定義

脱水を伴う大量の水様性下痢、粘血便、下血、発熱（38.5℃以上）、1日6回以上の下痢、48時間以上続く下痢、強い腹痛などの症状があるときは重症と考える。

ノロウイルス腸炎

▶ 乳児から成人まで全年齢に感染して急性のウイルス性胃腸炎の集団発生を引き起こす。食中毒の病原体のうち最も患者数が多いの

がノロウイルスであり、患者全体の30%を超える。食中毒としてのノロウイルス感染は12～2月が多く、その多くは生ガキである。ノロウイルス感染の30%程度は不顕性感染である。感染してから2週間程度は糞便中に排出され二次感染を引き起こす。

▶ 症状

1～2日間の潜伏期の後、急性胃腸炎を発症する。小腸からの分泌亢進により大量の水様性下痢を生じる。また、上部消化管症状である嘔気・嘔吐を生じる。腹痛はないか軽度。微熱や悪寒を伴い、脱水をきたす場合がある。一般に軽症で、特に治療を行わなくても2～3日で軽快するが、イレウスを併発するなど重症化することもある。

▶ 診断

- 病歴や症状から比較的容易に診断できる。内視鏡所見についてはほとんど報告がない。
- ウイルス抗原イムノクロマト法キットによる検査は、以下のいずれかに該当する患者について、ノロウイルス感染症が疑われる場合に保険適応となる。
 - ① 3歳未満の患者
 - ② 65歳以上の患者
 - ③ 悪性腫瘍の診断が確定している患者
 - ④ 臓器移植後の患者
 - ⑤ 抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤、又は免疫抑制効果のある薬剤を投与中の患者

▶ 治療

対症療法が主体となる

▶ 症状

潜伏期間は2～5日間で、ときに10日間程度と他の食中毒と比べて長い。主要症状は下痢、発熱、腹痛、嘔吐などで、半数以下に血便がみられる。下痢は腐敗臭のある泥状便や胆汁色水様便が多い。発熱は2～3日で解熱することが多い。症状は1週間ほどで自然消退するが、まれに6週間以上続くこともある。反応性膵膵炎やギラン・バレー症候群を続発することがある。

▶ 診断

微好気培養による同定には3～5日を要する。グラム染色だけでも小型らせん状桿菌を確認することができ、確診には至らないが早期に病原菌を推定するうえで有用である。

内視鏡所見では特徴的な回盲弁上の境界明瞭な潰瘍が40%程度でみられる。その他、全大腸に非特異的な炎症所見を呈する。直腸から病変が連続し潰瘍性大腸炎との鑑別が問題になる場合があるが、潰瘍性大腸炎と異なり血管透見像が介在している場合が多く、粘膜の易出血性も乏しい。

▶ 治療

対症療法を中心とし、抗生剤投与は重症例に対して行う。第1選択薬であるマクロライド系抗菌薬のクラリスロマイシンとエリスロマイシンは、耐性株はごくわずかで、耐性率はいずれも1%未満。第2選択薬のホスホマイシンは33%が耐性を示す。ペニシリン系やセフェム系は無効。

カンピロバクター腸炎

▶ Campylobacter属のC. jejuniはニワトリ、野鳥、ウシ、ヒツジなどの腸管内に常在菌として存在する。感染経路は汚染された水や食物で、圧倒的に多いのは鶏肉とその加工品の摂取によるものである。大気条件下では菌が急速に死滅するため、感染源特定は困難とされている。細菌性腸炎のうち最も頻度が高い。

感染性腸炎のまとめ

- ▶ 急性下痢の90%は感染性腸炎である。多くの場合は対症療法のみで軽快する。抗生剤投与は重症例に対して行う。
- ▶ 4週間以上持続する慢性下痢は多くの場合は非感染性の疾患なので、あわてず消化器内科へ紹介を。

令和6年度

体験型医療安全研修会のご紹介

当院では安全で安心な医療の提供のため、院内の全職員対象に体験型の医療安全の研修会を毎年行っております。
今年度のテーマは「ひとりひとりの力を合わせて安全文化を育もう」でした。
8月30日、9月2日で以下の内容を実施しました。

- 1 救急法～BLSからAEDの体験～
- 2 患者の移乗・移動の体験～転倒予防・スキンテア予防に繋げる～
- 3 医療ガス研修～酸素ポンペを用いた操作体験～ *医療職対象
- 4 配薬セット体験 *看護師対象

受講者からは「心肺蘇生法やAEDを経験出来て実践に活かせる研修でした」「客観的に評価してもらい、学び直しができた」などコメントがありました。
車いすの移乗・移動を実際に体験し、高齢者で皮膚の脆弱さから発生するスキンテア（皮膚裂傷）について学んだことで介助者の注意点を理解できました。
病院職員一同、定期的な研修を継続し「安全で安心な医療の提供」に努めてまいります。

心肺蘇生法・AED



車いすの移乗・移動



配薬セット体験



医療ガス研修



医療安全推進室 リスクマネジメント部会

令和6年度患者満足度調査 結果報告

当院では1年に1度、患者の皆さんに当院の医療や患者サービスなどを評価していただき、また医療・サービスに対する意見をいただいています。今回のアンケートでは外来・入院・訪問看護・健診の患者さんを対象に患者満足度調査のアンケートを実施しました。

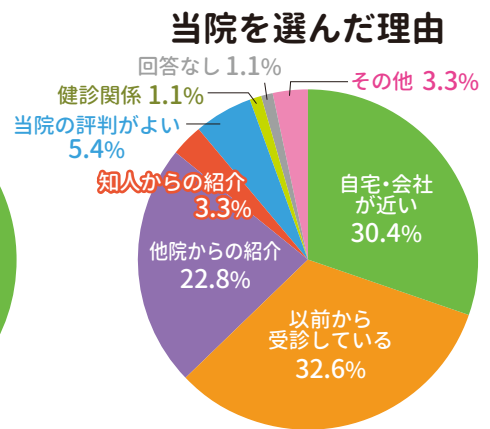
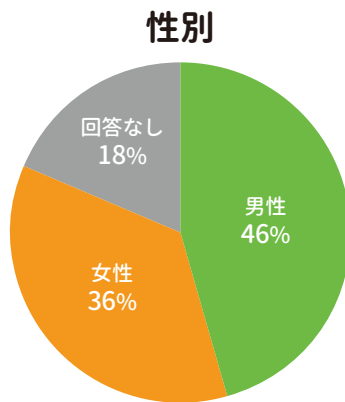
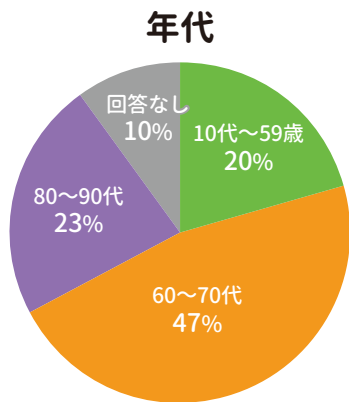
調査実施状況について

- 調査期間
 - 外 来：令和6年9月24日～9月26日（3日間）
 - 入 院：令和6年9月17日～10月18日（1ヶ月間）
 - 訪問看護：令和6年9月17日～10月18日（1ヶ月間）
 - 健 診：令和6年9月17日～10月4日（3週間）
- 回 答 数
 - 外来：92名、入院：103名、訪問看護：35名、健診：209名

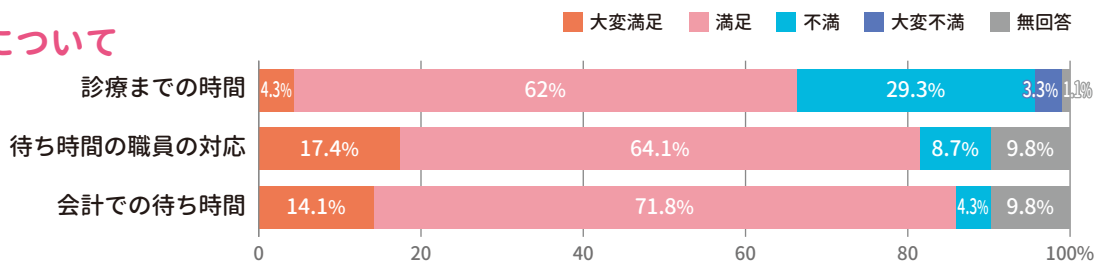


調査結果について

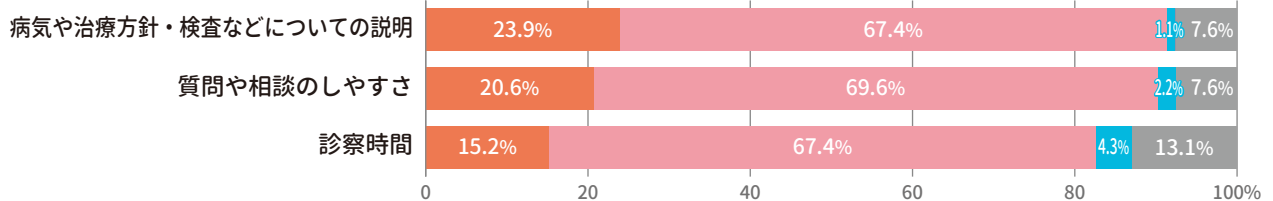
(外来)



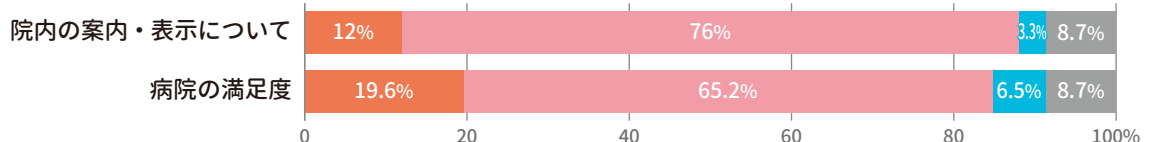
○待ち時間について



○医師の診察について



○施設について



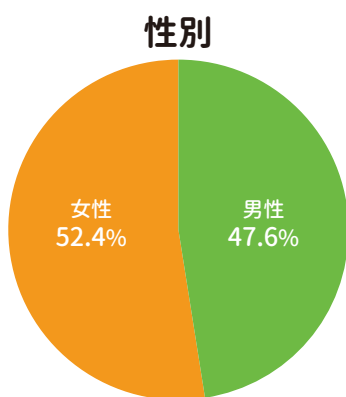
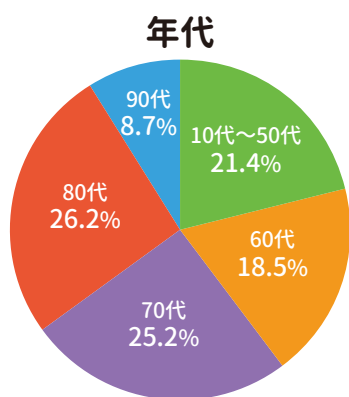
○当院を周りの人に紹介したいか



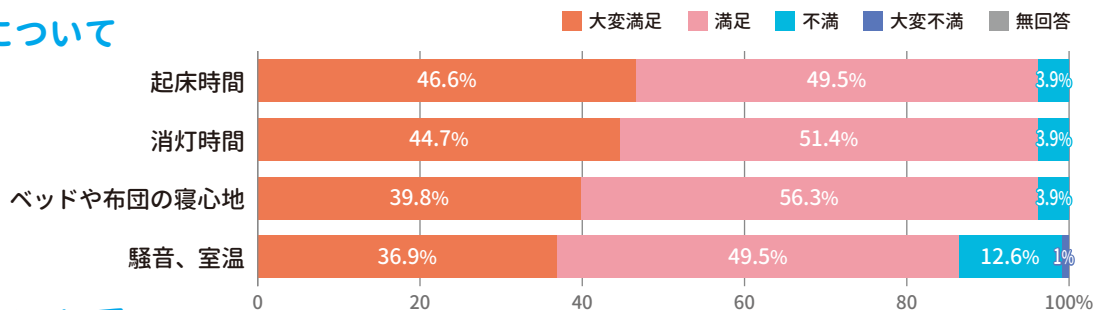
～患者さんからのコメント～

- ・車椅子利用ですが、駐車スペースの空きがなく、乗り降りに不便を感じる。
- ・待ち時間が長く、椅子がかたくて足腰が痛くなる時があります。
- ・私はとても良い病院だと思う。看護師さんも優しく何でも聞きやすい。説明も丁寧で私は大好きです。
- ・先生に質問しやすく、丁寧に説明して下さいます。

(入院)



○入院環境について



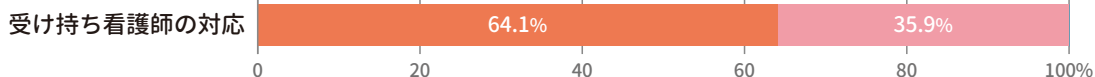
○CSセットについて



○主治医について



○看護師について



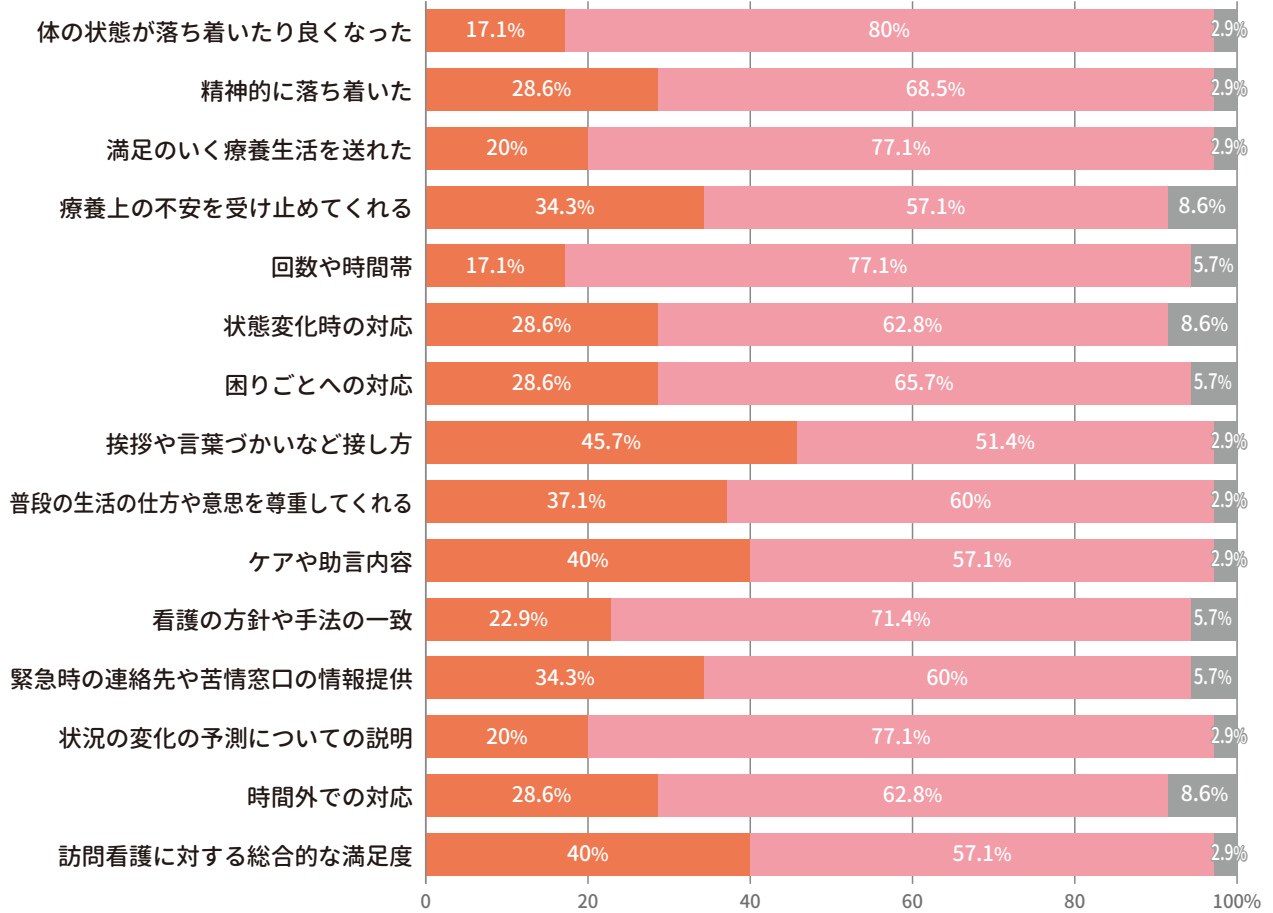
～患者さんからのコメント～

- ・病棟にある洗面台を改善して欲しい。手洗いをするには良いが、手洗い場が浅いので、水しぶきが飛びちって洗顔等が出来ない。
- ・医師からの説明がなく不満。
- ・Wi-Fiがあったら良い。ギガが無くて家族との連絡が大変だった。
- ・夜間にも関わらず、丁寧なご対応ありがとうございました。
- ・同室の方のいびきで朝方まで眠れなかったのですが、すぐに対応していただき大変ありがたかったです。

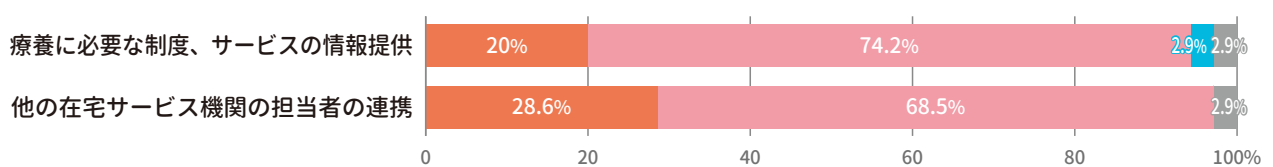
(訪問看護)

■ 大変満足 ■ 満足 ■ 不満 ■ 大変不満 ■ 無回答

○訪問看護師のサービスについて



○サービス事業所との連携について

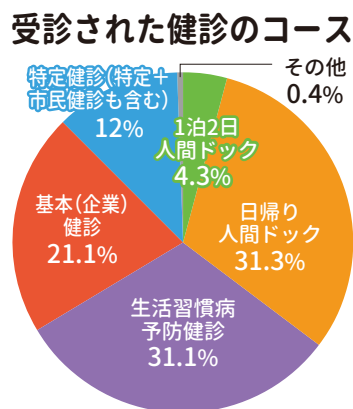
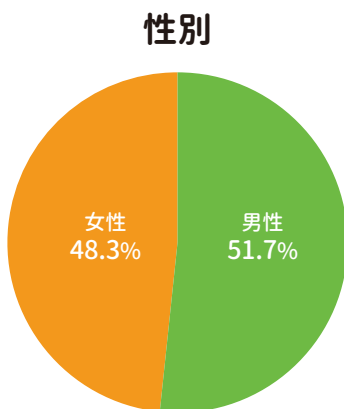
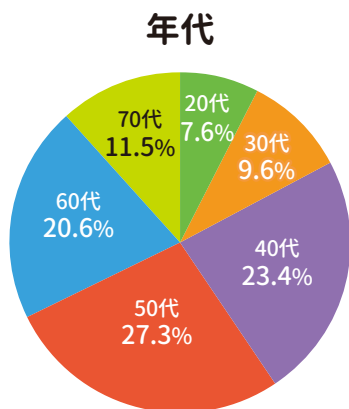


～患者さんからのコメント～

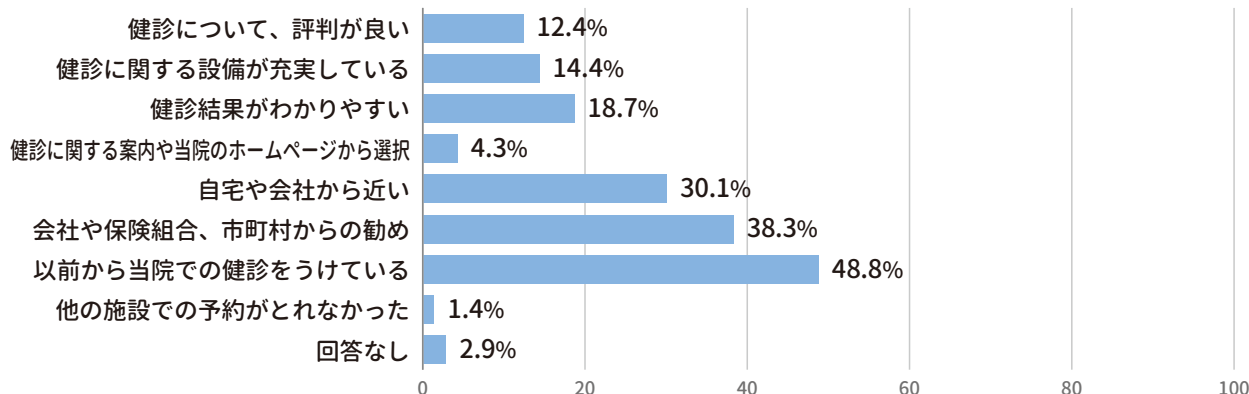
- ・いつもありがとうございます。母も訪問看護の人が来るのを楽しみにしています。感謝してます。これからもよろしくお願いします。
- ・初めて訪問看護を利用させていただきましたが、思いやりや親切心等、相手の立場になってアドバイスをしてもらい感謝しています。超高齢者になり家族ではなかなか行き届いた医療について知識や経験がないですが、今後共訪問看護の方にはお世話になり母が1日でも長く生きられるよう協力をお願いします。
- ・いつも丁寧にくり返される母の話に対応してくださり感謝しています。家族としても訪問してくださると気持ちがホッとする部分があり心強く感じます。



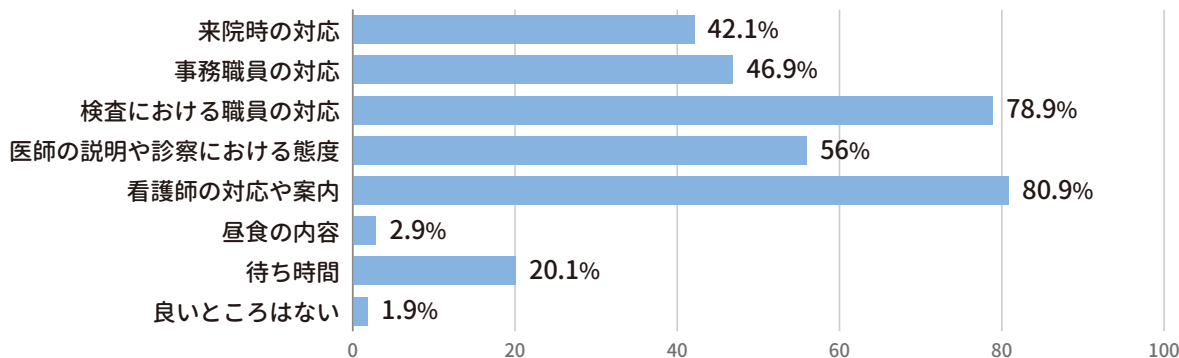
(健診)



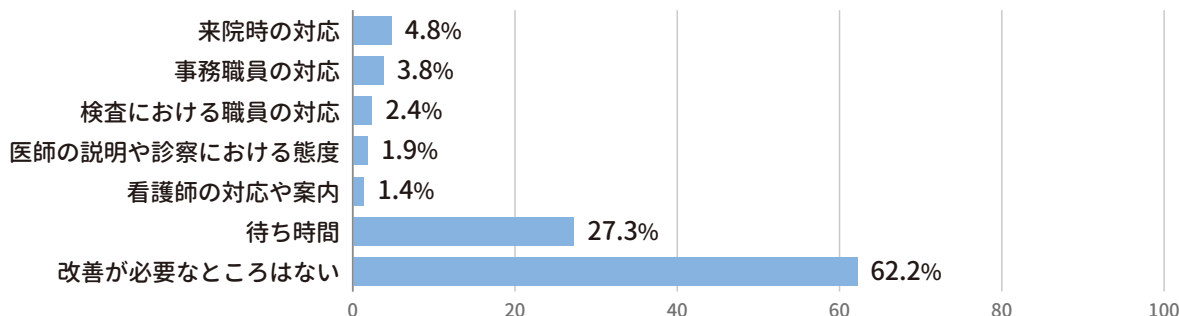
○受診の動機 (複数回答)



○本日の健康診断においてよかったと思われた理由 (複数回答)

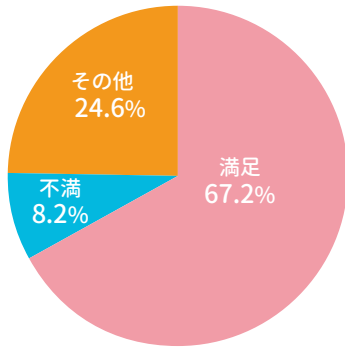


○本日の健康診断において改善が必要と思われた部分 (複数回答)

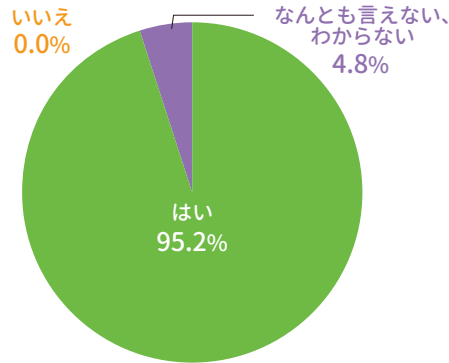


○**昼食の満足度**

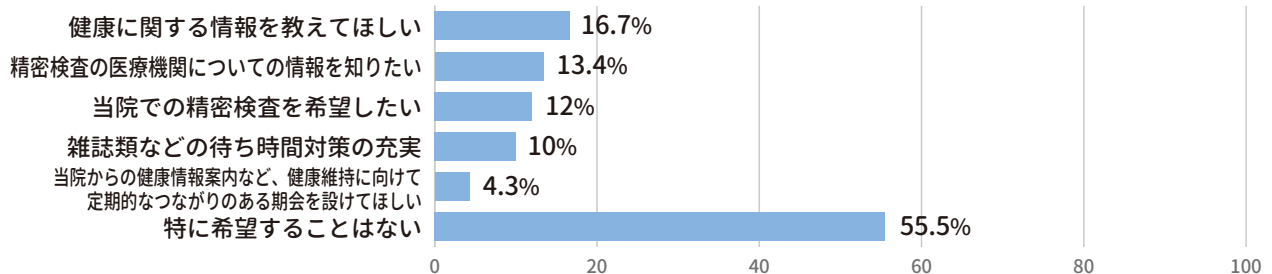
(61件の回答)



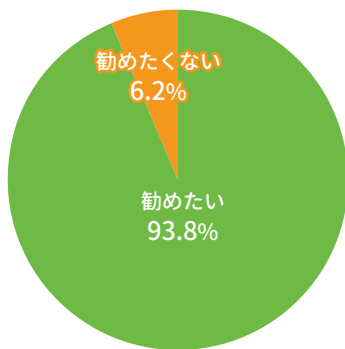
○**健康診断はあなたの健康維持に役立つものですか**



○**健康診断に希望すること** (複数回答)



○**当院での健診を友人に勧めたいですか**



○**当院での健診を勧めたい理由**

- ・検査などスムーズにできるし、スタッフの方々の対応が良い
- ・オプションが安い
- ・看護師さんの問診の説明を含めた対応がとても詳しくわかりやすかった

～受診者さんからのコメント～

- ・胃カメラの検査で全身麻酔も可能にしてほしい。
- ・診断結果について、質問した時に丁寧に教えていただけた。対応が良い。
- ・健康診断がシステム化されていてスマートに進む。
- ・院内の雰囲気も職員のかたの対応も良いので不安なく実施できた。



サービス向上委員会より

この度は調査にご協力いただきありがとうございました。皆様から頂いたご意見については真摯に受けとめ、改善に向けて今後検討していきたいと思っております。多くのお褒めの言葉も頂いており、大変うれしく思います。これを励みに、より一層皆様に安心してご利用いただけるよう、努めて参りたいと思っております。

諫早日赤健康フェスタ

～「無理をしないで」「生き生きと」～



当院は、10月27日（日）に健康フェスタを開催しました。

このイベントは、地域の皆さまに当院をより深く知っていただき、健康について考えるきっかけを提供するとともに、地域住民の皆さまと交流を深めることを目的に企画し、約100名の方々にご来場いただきました。

イベントでは、理学療法士、管理栄養師、薬剤師といった各分野の専門スタッフによる健康講座を実施しました。また、動脈硬化や血糖値の測定といった健康チェックのコーナーを

設け、参加者の方々にご自身の健康状態を確認していただける機会を提供しました。さらに、救急法（幼児安全法）の講習を行い、健康だけでなく生活の中でも役に立つ知識についても学ぶことができる内容となりました。





そのほか、救護服の試着体験や非常時に役立つ備蓄食の試食コーナー、盆石や写真の展示なども行い、小さなお子さまからご年配の方までお楽しみいただきました。

今回、新たな試みとしてスープカレーやクロワッサンサンドを提供するキッチンカーを会場にお招きしました。キッチンカーは、ご来場者だけでなく業務の合間を縫って訪れた当院の職員からも大変好評でした。

今後も地域の皆さまの健康を支え、交流を深められるようなイベントを企画できるよう職員一同で取り組んでまいります。

今回のイベントにご来場いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



糖尿病教室を再開しました!

昨秋から糖尿病教室を再開しました。糖尿病や生活習慣についてのお話を医師、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、管理栄養士などいろいろなスタッフが月替わりで担当しています。糖尿病の方、ご家族が糖尿病の方、最近体重が気になっている方、今の健康を維持したい方、ぜひ一度参加されてみてはいかがでしょうか。2025年度スケジュールも現在検討中です。ご希望の方は外来窓口へお気軽にお問い合わせください!



日時 毎月第2水曜日 10:00~11:00(※3/12のみ13:30~14:00)

場所 2階レストラン内(※3/12のみ外来待合)

諫早日赤病院の公式SNS登場

Instagram はじめました!



初投稿

Instagramを開始して
最初の投稿です！
2024/9/24から投稿を
開始しました。
これから沢山の投稿を
していきます。
めざせ100万人！



防災について

長崎原爆病院の災害訓練に参加しました！
日々の訓練を欠かさずに精進します

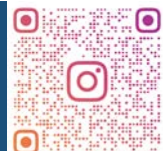


イベント情報

健康フェスタの投稿
です
「投稿を見て来まし
た！」と言われたと
きは、すごくうれし
かったです...
様々なイベント情報
を発信します！



他にも様々な情報を発信しています！
ぜひフォローをお願いします！



お礼

新型コロナウイルス感染症対策のための面会制限や検温・問診などへのご理解・ご協力、誠にありがとうございます。



日本赤十字社長崎原爆諫早病院 外来担当医一覧表

○印の医師は新患担当兼務、その他医師は予約の患者さんが優先となります。

令和7年2月1日現在

診療室	月	火	水	木	金
	1	○金子 誠也 (呼吸器)	○永吉 洋介 (呼吸器)	○森山 咲子 (呼吸器)	○藤本 真澄 (消化器・肝臓)
2	福島 喜代康 (呼吸器)	長尾 正一 (循環器)	福島 喜代康 (呼吸器)	福島 喜代康 (呼吸器)	金子 誠也 (呼吸器)
3	森山 咲子 (呼吸器)	福田 実 (呼吸器)	森田 十和子 (糖尿病)	福田 実 (呼吸器)	永吉 洋介 (呼吸器)
4	田崎 洋文 (循環器)	永松 雅朗 (消化器)	長尾 正一 (循環器)	田崎 洋文 (循環器)	長尾 正一 (循環器)
5	藤本 真澄 (消化器・肝臓)		加治屋 勇二 (消化器・肝臓)	永松 雅朗 (消化器)	
内科外来 午後	禁煙外来 福島、福田、永吉、森山 (13:30~14:00)	呼吸不全外来 福島、福田、永吉、森山 (13:00~15:30)	整形外科外来 (長崎大学) (13:30~)		
		※第2、第3週の火曜日は呼吸器疾患の講義 (13:30~14:00)			
ドック 総合判定 (13:30~14:30)	金子(祐) 加治屋/永松	金子(祐) 森山/福田	金子(祐) 永松	加治屋 金子(誠)	金子(祐) 田崎/藤本

検査担当医一覧表

区分	月	火	水	木	金
腹部超音波 (ドック)	加治屋	藤本	永松		
上部消化管内視鏡	加治屋 永松	加治屋 藤本	永松 藤本	加治屋 (長崎大学消化器)	永松 藤本
大腸内視鏡	永松、藤本 加治屋	永松、藤本 加治屋	永松、藤本 加治屋	永松、藤本 加治屋	永松、藤本 加治屋
気管支鏡			福島、福田、永吉 森山、金子(誠)		福島、福田、永吉 森山、金子(誠)
ペースメーカー				長尾、田崎	
トレッドミル		田崎		長尾	
心エコー		田崎	田崎	長尾	
睡眠時ポリグラフ検査	福島、福田、永吉 森山、金子(誠)	福島、福田、永吉 森山、金子(誠)	福島、福田、永吉 森山、金子(誠)	福島、福田、永吉 森山、金子(誠)	



日本赤十字社 長崎原爆諫早病院

Japanese Red Cross Society

〒859-0497 諫早市多良見町化屋986番地2

病院代表 TEL 0957-43-2111 FAX 0957-43-2274

医療連携室 TEL 0957-27-2311 FAX 0957-43-2870

訪問看護ステーション TEL 0957-47-6344 FAX 0957-47-6399

受付時間 午前8:30~午前11:00

※当院は紹介状なしでも選定療養費のご負担はありません。

休診日 土・日・祝日、年末年始(12月29日~1月3日)
日本赤十字社創立記念日(5月1日)

ホームページ <http://www.isahaya.jrc.or.jp/>